

## 東海大学医学部(1日目) 英語

2026年 2月 2日実施

1	問 1	問 2	問 3	問 4	問 5	問 6	問 7	問 8	問 9	問 10	問 11	問 12
	ウ	ア	エ	イ	エ	イ	イ	ア	エ	エ	イ	ア
	問 13											
	1	2	3	4								
	T	F	T	T								
2	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		
	ア	エ	ア	ウ	イ	ウ	ア	エ	イ	ア		
3	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		
	ア	イ	エ	ウ	ア	エ	ア	ウ	イ	ア		
4	1	2	3	4	5	6	7	8				
	ア	イ	ア	ウ	ウ	エ	ウ	エ				
5	問 1	問 2	問 3	問 4	6	(1)	(2)	(3)	(4)			
	イ	エ	エ	ウ		ア	ウ	イ	エ			
7	(1) これらの機器は赤外線ビームと原子よりもさらに一層小さな粒子を用いることで、考古学者たちが発掘作業をすることなく、構造物の内部を観察することを可能にしている。 (別解) これらの装置は赤外線ビームや原子よりもさらに小さな粒子を用いて、建造物を発掘することなくその内部を考古学者が観察できるようにしている。											
	(2) このようにして古代の謎を解き明かすために最先端のテクノロジーを応用することは、世界中の人々の注目を集めている。 (別解) 古代の謎を解くために最先端技術を応用するこの取り組みは、世界の注目を集めてきた。											
8	(1) It goes without saying that just setting a thermometer in a random location in the water cannot yield the accurate measurement of ocean temperature. (別解) Obviously, simply placing a single thermometer at a given point in the water cannot accurately measure the actual temperature of the sea.											
	(2) Scientists are using satellites to monitor sea level rise directly correlated with the warming of deep ocean waters. (別解) Scientists employ satellites to observe rising sea-levels, which are closely linked to the rise in deep-ocean temperatures.											

1

問 1 「第 1 段落によれば、トム・ハリソンは\_\_\_\_\_」

- ア. 「イギリスを一度も離れることなく、世界の文化について学ぶ方法を発展させた」
- イ. 「必要としていた研究データをすべて自分一人で収集することに専念していた」
- ウ. 「一般のイギリス国民の見方について、報道機関が十分に理解していないと考えていた」
- エ. 「海外で見聞きしたものと比べて、イギリス文化は劣っていると感じていた」

正解はウ。同段落第 2 文が根拠となる。その 1 文の意味は「しかし彼には、国内の新聞も政府も、一般的なイギリス国民のものの見方を理解していないように思われた」である。この内容を言い換えたものがウである。

問 2 「第 2 段落によれば、マス・オブザベーション計画について正しいものはどれか」

- ア. 「設立からおおよそ 90 年が経った現在も、学者の関心を集め続けている」
- イ. 「参加者はその生活様式に基づいて選ばれていた」
- ウ. 「イギリスの指導者 3 名の見解を明らかにするものであった」
- エ. 「国家の上層階級の生活や信念を探ることを目的としていた」

正解はア。同段落最終文が根拠となる。その 1 文の意味は「ハリソンとその同僚たちは、MO が集めたデータに、今日の歴史家の多くがどれほど強い関心を抱くようになるかを想像することはできなかっただろう」である。この 1 文は“could not have imagined~”というように仮定法過去完了形を用いて、今となっては窺い知れない過去の時点におけるハリソンとその同僚の認識が説明されている。imagine の目的語である節で述べられている内容は、特に仮定法とは関係がなく、現実のことであり、ここから「おおよそ 90 年が経った現在も、学者たちの関心を集め続けている」という内容が正しいと判断できる。

問 3 「第 2 段落の目的は\_\_\_\_\_」

- ア. 「1930 年代におけるイギリスの指導部の詳細な姿を描くこと」
- イ. 「ハリソン、マッジ、ジェニングズとの関係を説明すること」
- ウ. 「イギリス国民がどのように考え、行動していたかのさまざまな側面を列挙すること」
- エ. 「関心をもった市民がどのようにして MO 計画を始めたかを説明すること」

正解はエ。同段落全体が根拠となるが、特に第 1, 2 文で判断できるだろう。それらの意味は「ハリソンと同様に、詩人のチャールズ・マッジやドキュメンタリー映画作家のハンプリー・ジェニングズも、イギリスの指導者たちが世論についての短絡的な思い込みに基づいて社会政策を立てていると感じていた。人々の実際の信念をよりよく理解するために、ハリソンはマッジやジェニングズと協力し、1937 年にロンドンを本拠地としてマス・オブザベーション計画 (MO) を設立した」である。選択肢イと迷うかもしれないが、イの記述だと 3 人の関係性を述べるのが目的になってしまうが、第 2 段落の要点はむしろ、MO の設立過程を説明することである、と判断できるかどうか問われている。

問 4 「第 3 段落によれば、観察者が求められなかったことはどれか」

- ア. 「他人に知られないように、他人の会話を聞くこと」
- イ. 「見知らぬ人から情報を集めることを避けること」
- ウ. 「他人とのやり取りから学んだことを報告すること」
- エ. 「幅広い話題について自分の考えを MO に伝えること」

正解はイ。同段落第 2 文に反する。その 1 文の意味は「多くの観察者は見知らぬ人にインタビューをし、そこで得たことを MO 本部に報告するよう求められた」である。この内容に反するのがイである。アに関しては、同段落第 3 文、ウに関しては上述の第 2 文、エに関しては第 1 文をそれぞれ根拠として、正しいことを確認できる。

問 5 「第 3 段落の下線部(A)の単語 **minutiae** と最も意味が近いものはどれか」

- ア. 「秘密の支払い」
- イ. 「否定的な側面」
- ウ. 「流行の潮流」
- エ. 「ささいな細部」

正解はエ。 **minutiae** を知識として知っている受験生は多くないと思われるが、 **minute** という形容詞に形が近いことから、その「微小な」という意味をもとに「ささいなこと」といった意味を推測することはできる。また、直後に具体例が並んでいるので、それらをもとに推測することも可能である。その意味は「手ぶりや、特定の時間帯に通りで見かける黒い靴と茶色い靴の比率など」である。こうした「ささいな」事項についても記録するように求められていたことがわかる。

問 6 「第 3 段落と第 4 段落によれば、戦前と戦時中の MO の活動はどのように異なっていたか」

- ア. 「戦時中の記録は、国の遠隔地における日常生活に限定されていた」
- イ. 「戦時中の記録では、話題や形式についての具体的な指示が少なかった」
- ウ. 「戦時中の観察者の数は、戦前の 2 倍以上であった」
- エ. 「戦前の日記執筆者は自分の生活について書き、戦時中の執筆者は他人に取材していた」

正解はイ。第 4 段落第 1 文が根拠となる。その 1 文の意味は「1939 年に第二次世界大戦が勃発すると、MO は全国的に観察者を募集し、今回は調査質問に答えるのではなく、日々の生活について自由に書くよう求めた」である。あらかじめ用意された質問事項に答えるのではなく、自由に生活について記述する、ということを踏まえると、イのように判断することも可能である。直接イを選ぶのが難しければ、消去法で他の選択肢を消してもよい。アは「遠隔地」に限定という点が上述の 1 文に反する。ウは逆であり、第 3 段落第 1 文によれば戦前の MO 参加者は 1000 人近くだったのに対し、第 4 段落第 2 文によれば、戦時中は 500 人近くと半減している。エも戦前と戦時中の内容が完全に逆である。

問 7 「第 5 段落によれば、ダフ・クーパーについて正しいものはどれか」

- ア. 「彼の方針は、MO の創設者 3 人全員を引き続き関与させるというものであった」
- イ. 「彼は、現場で活動する観察者の数が増えるよう手配した」
- ウ. 「彼の戦略は、提出される MO の日記記録の数を減らすことであった」
- エ. 「彼は、MO の戦時中の活動を拡大するために、ハリソンに雇われた」

正解はイ。同段落第 2 文が根拠となる。その 1 文の意味は「これを受けて、情報大臣であったダフ・クーパーは MO を引き継ぐことを決め、ハリソンは留任させたが、マッジとジェニングズは残さず、より多くのデータを得るためにさらに多くの観察者を採用した」である。

問 8 「第 6 段落によれば、次のうち正しくないものはどれか」

- ア. 「第二次世界大戦が終わる頃には、MO は日記の受け入れをやめていた」
- イ. 「サセックス大学で MO の資料を見るために予約を取ることができる」
- ウ. 「ネラ・ラストは第二次世界大戦が始まった年に日記を書き始めた」
- エ. 「ハリソンは MO への関心を維持するうえで重要な役割を果たした」

正解はア。同段落第 1 文に反する。その 1 文の意味は「1945 年に第二次世界大戦が終結した後も、多くの観察者は記録の提出を続け、中には数十年にわたって書き続けた者もいた」である。

問 9 「最終段落の主旨として最も適切なものはどれか」

- ア. 「MO の日記の中には、非常に感動的なものがある」
- イ. 「MO の観察者たちは、第二次世界大戦中に侮辱的なあだ名を付けられていた」
- ウ. 「MO の活動は、市民のプライバシーを侵害した可能性がある」
- エ. 「批判はあるものの、MO 計画は一時代を理解するための洞察を今も与えている」

正解はエ。同段落全体が根拠となるが、特に最終文で判断できるだろう。その 1 文の意味は「しかしながら、こうした議論は研究倫理をめぐる議論に影響を与え続けているものの、一般の人々の生きられた経験を探ろうとしたこの画期的な取り組みの価値を損なうものではない」である。

問 10 「最終段落の空所[ 1 ]に最も適切なものはどれか」

- ア. 「全体として」
- イ. 「概して言えば」
- ウ. 「一方で」
- エ. 「実際に」

正解はエ。同段落第 2 文と第 3 文の間にどのような関係があるのかをもとに適切な副詞を入れる問題である。第 2 文では「話し手の同意なしに会話を記録することは、重大なプライバシー上の問題を引き起こすと批判されてきた」と述べられ、MO 計画の倫理的問題点が指摘される。続く第 3 文では「このような行為を行った観察者たちには、戦時中『クーパーの盗み聞き屋』というあだ名が付けられていた」と述べられ、具体的に前文の内容の正しさを強調する役割を果たしている。このような場合にふさわしい副詞が **indeed** である。「論点の強調」という役割を果たしている。ほかには **in fact** も同様の働きをもつ。2 文の内容を一般化して A と B とあらわすならば、 $A=B$  という関係が成り立つ場合には「A。実際に（本当に）B」といった日本語にすればよい。 $A < B$  という関係が成り立つ場合（敷衍とよぶ）、「A。それどころか B」といった日本語にすることが求められる。

問 11 「本文の内容から判断して、筆者が最も同意すると思われるものはどれか。」

- ア. 「ネラ・ラストの人生は、伝記映画の題材とするほど特別なものではなかった」
- イ. 「否定的な内容の日記であっても、興味深く有益な場合がある」
- ウ. 「MO の資料を大学に寄贈したハリソンの判断は不適切であった」
- エ. 「専門の作家や歴史家でない人々からは、その時代について学べることはほとんどない」

正解は、イ。第 5 段落最終文に “Many diary entries revealed a darker mood: anger about black markets, resentment toward rule-breaking neighbors, and despair over the war.” とあり、多くの日記が闇市場への怒りや規則を破る隣人への反感、戦争への絶望といった否定的な内容を含んでいたことがわかる。第 7 段落最終文に “While these arguments continue to inform debates about research ethics, however, they do not diminish the value of this landmark effort to explore the lived experiences of ordinary people.” とあることから、研究の倫理的な問題点があるとしても、MO 計画の価値は損なわれないと筆者は評価している。したがって、筆者は否定的な内容の日記であっても価値があり、結果として興味深く有益な場合があるという考えに最も同意しているといえる。

問 12 「この文章の題名として最も適切なものはどれか。」

- ア. 「過去への窓：マス・オブザベーション計画」
- イ. 「親愛なる日記：マス・オブザベーションを通して見た第二次世界大戦」
- ウ. 「クーパー対ハリソン：マス・オブザベーションの遺産をめぐる闘い」
- エ. 「意見か事実か：マス・オブザベーションの戦前の日記」

正解は、ア。第 2 段落第 2 文に “To gain a better understanding of people’s actual beliefs, Harrison collaborated with Madge and Jennings to establish the Mass Observation (MO) Project in 1937 with their headquarters based in London.” とあり、1937 年にハリソン、マッジ、ジェニングズが人々の実際の考えを知るために MO 計画を始めたことが述べられている。第 7 段落最終文に “While these arguments continue to inform debates about research ethics, however, they do not diminish the value of this landmark effort to explore the lived experiences of ordinary people.” とあることから、一部に批判はあるものの、MO 計画の取り組みには一般の人々の人生の経験を探る試みとして価値を持ち続けていることが示されている。したがって、MO 計画は人々の生活や考えを知るための「過去への窓」となっているといえる。

問 13 「本文に従って、選択肢の文が正しければ “T” を、誤りならば “F” をマークしなさい。」

- ア. 「第二次世界大戦中、MO の職員は提出される記録の量に対応するのに苦労していた」
- イ. 「ネラ・ラストは、自身の MO 日記に基づいた映画『Housewife, 49』に出演した」
- ウ. 「サセックス大学は、ネラ・ラストが最後の日記を書いてからおおよそ 4 年後に MO の資料を受け取った」
- エ. 「多くの日記執筆者が同じ社会階層や信念を持っていたことが、MO の記録を世論の信頼できない指標にしていると主張する人もいる」

1. 正解は T。第 5 段落第 1 文に “The British government soon recognized MO’s ability to capture an in-depth view of public wartime opinion.” とあり、当該段落は大戦中の出来事であるとわかる。第 5 段落第 3 文に “The small staff at MO’s headquarters quickly became overwhelmed by the task of reading and organizing the diaries but were able to identify and report trends to Cooper.” とあり、MO の職員は日記を読み整理する作業に圧倒されていたことがわかる。
2. 正解は F。第 6 段落第 8 文に “The movie *Housewife, 49*, starring Victoria Wood as Nella Last, was named after the heading on her first entry.” とあり、ヴィクトリア・ウッドがネラ・ラスト役を演じていたとわかる。ネラ・ラスト自身が自ら映画に出演したわけではない。
3. 正解は T。第 6 段落第 2 文に “In 1970, Harrison donated the entire collection of MO diaries to the University of Sussex, sparking a movement to preserve and study them.” とあり、ハリソンが日記の全集をサセックス大学に寄贈したのは 1970 年の出来事だとわかる。第 6 段落第 7 文に “By the time of her last diary entry in 1966, she had submitted over 12 million words, constituting one of the longest known autobiographical efforts in the English language.” とあり、ネラ・ラストが最後に日記を記したのは 1966 年であるとわかる。したがってサセックス大学はネラ・ラストが最後に日記を書いてから 4 年後にハリソンから日記の全集を受け取ったとわかる。
4. 正解は T。第 7 段落第 1 文に “As poignant as Last’s and others’ diaries are, the MO Project has not been without controversy.” とあり MO の取り組みに論争があったことがわかる。第 7 段落第 4 文に “It has also been pointed out that, because so many volunteer diarists were middle-class and politically left-leaning, the project suffers from bias.” とあり、日記の執筆者の多くが中流階級で政治的に左派寄りであったため、MO の取り組みに偏りがあるのではないかと指摘がされているため、MO の記録の信頼性には疑義があると主張する人がいることがわかる。

2

問 1. ア had

<I wish S had done > 「S が～であれば / すればよかった」という過去の実現しなかった出来事を表す。

“I had no idea you were so disappointed: I wish you had said something.”

「あなたがそんなに落ち込んでいたなんて全然知らなかった。何か言ってくればよかったのに」

問 2. エ However

<However 形容詞/ 副詞 ..., SV > で「どんなに…であっても～」という意味を表す。空欄の直後の 形容詞 accurate と直接結びつき、文をつなぐ副詞節の役割をするのは選択肢の中で However のみである。

“However accurate the navigation system may be, pilots are trained to double-check with manual instruments.”

「ナビゲーションシステムがどれほど正確であっても、パイロットは手動の計器で二重確認するよう訓練されている」

問 3. ア of

<It is 形容詞 of ...to do ~> で「…が～するのは形容詞だ」という意味を表す。to 不定詞の前の of/for は不定詞の意味上の主語を置く。この形式で使用する of は形容詞が人の性質・性格を表す場合に用いられる。本問は形容詞 irresponsible 「無責任な」という人の性質を表す語が用いられているため of を選択する。

“It was irresponsible of Yongrae to ignore the safety warnings before hiking up there during the winter.”

「冬にあそこまで登る前に、安全上の警告を無視したヨンレは無責任だった」

問 4. ウ check

本問で使用されている make は使役の用法であり、make の後に意味上の主語と動詞の原形を置く <make A (意味上の主語) do ~> という形式で「A に～させる」という意味を表すため、動詞の原形となっている選択肢 check を選択する。

“Chef Barton made her apprentice check the ingredient list again before starting to cook.”

「バートン料理長は、調理を始める前に見習いに材料表を再確認させた」

問 5. イ clear

explanation 「説明」は名詞であり、これを修飾する形容詞 clear を選択する。

“Our tour guide gave a very clear explanation of the ancient temple’s story.”

「私たちのツアーガイドは、その古代寺院の歴史について非常に明確な説明を行った」

問 6. ウ whenever

<wherever S’V’ ~> で「S’が V’するときはいつでも」という意味を表す接続詞。空欄の後の文構造に名詞を入れる箇所がないため whoever / whatever は選択できない。また、文中に場所については in town と言及されているため、時に関する whenever を選択する。

“Don’t worry! I’ll be sure to contact you whenever I plan to be in town.”

「心配しないで。町にいる予定があるときはいつでも、あなたに連絡するよ」

問 7. ア pieces of furniture

furniture 「家具」は集合名詞で、ふつうは冠詞 a を伴ったり複数形にしたりしない。<a piece of 集合名詞> にすることで数えられる形で表現できる。本問の空欄の前に two があるため pieces of furniture を選択する。

“Marisa bought two pieces of furniture and paid extra for them to be assembled.”

「マリサは家具を 2 点購入し、それらを組み立ててもらうために追加料金を支払った」

問 8. エ so dedicated a

<so 形容詞/ 副詞 that S’V’ ~> で「とても…なので～だ」という意味を表す。so は副詞であるため形容詞を伴う名詞の構造である場合に <so 形容詞 名詞> という語順になる。本問は a dedicated parent であるため、so dedicated a parent という語順を選択する。

“Ahmed is so dedicated a parent that he sometimes neglects his own needs.”

「アフメドはとても献身的な親なので、時には自分自身のことを後回しにしてしまう」

問 9. イ are they

本問は主節の内容に関して相手に同意を求める「付加疑問」を表すような適切な形式を選択する。主節に nobody 「誰も～ではない」という否定を表す語があるため肯定の形式、nobody に対する代名詞 は they であるため、are they を選択する。

“Nobody is really all that surprised to hear that she’s quitting the company, are they?”

「彼女が会社を辞めると聞いて、本当にそんなに驚いている人はいないよね」

問 10. ア withholding

consider は目的語に動名詞を取り、「～することを考慮する / 検討する」という意味を表す。

“Until all the facts could be verified, our editors considered withholding that particular news story.”

「すべての事実が確認されるまで、編集部はその特定のニュース記事の掲載を控えることを検討した」

3

問 1. ア	<u>invigorating</u>	「～を元気づける」	= stimulating
問 2. イ	<u>exasperated</u>	「～に憤慨した」	= irritated
問 3. エ	<u>provisionally</u>	「暫定的に」	= tentatively
問 4. ウ	<u>cost an arm and a leg</u>	「コストがかかる」	= expensive
問 5. ア	<u>mindfully</u>	「配慮して、慎重に」	= thoughtfully
問 6. エ	<u>gearing up</u>	「～への準備をする」	= preparing
問 7. ア	<u>homogeneity</u>	「均一性、一体性」	= uniformity
問 8. ウ	<u>fallible</u>	「間違いやすい」	= imperfect
問 9. イ	<u>mislead</u>	「～に誤解を与える」	= deceive
問 10. ア	<u>conservative</u>	「保守的な」	= traditional

4

問1. ア 「Granma が “burning daylight” と言っているが、それは\_\_\_\_\_ということを意味している可能性が最も高い」

Granma の 2 つ目の発言の第 3 文に “You’re both just burning daylight.” とあり、その直後の第 4 文に “Put those phones away!” 「スマホをしまいなさい！」という叱りの言葉があることから、“burning daylight” は何かネガティブな意味であると推測できる。“burning daylight” は「白昼に明かりを灯す」という意味から転じて「無駄なことをする」の意味になる。よってアが正解である。

問 2. イ 「対話によれば、Brennen は\_\_\_\_\_」

Brennen の 1 つ目の発言の第 2 文に “School was a nightmare this past week.” 「この 1 週間、学校は悪夢だった」とあるのでイが正解である。

問 3. ア 「対話によれば、Hannah は\_\_\_\_\_」

Granma の 3 つ目の発言の第 2, 3 文に “I need to get back to gardening. You used to love doing that with me when you are little, Hannah.” 「私はガーデニングに戻らなきゃ。ハンナ、あなたが小さかった時は私と一緒にそれをするのが好きだったね」という言葉があることから、アが正解である。

問 4. ウ 「対話によれば、次のうち Granma について最も当てはまるものはどれか」

Granma の 3 つ目の発言の第 4 文に “My friend Fran recommended moving ..., so that’s my morning project.” という言葉があり、また Hannah の 2 つ目の発言の第 1 文に “You know Granma, just like you met Fran on that Gardening Friends app,” という言葉があることから、Granma と Fran はアプリ上で知り合い、Granma は今 Fran の薦めに従ってガーデニングをしていることがわかる。よってウが正解である。

問 5. ウ 「対話によれば、Fatima は毎週いつ夕食を作る可能性が最も高いか」

3 つ目の Fatima の発言第 2 文に “I could cook Mondays or Wednesdays.” とあり、3 つ目の Polly の発言第 2 文に “~ but Mondays and Tuesdays are okay.” とあることから、月曜日は Polly に夕食当番をやらせてもらえばよいことが読み取れる。

問 6. エ 「対話によれば、Fatima が “a wet blanket” というとき、\_\_\_\_\_人を意味する可能性が最も高い」

“a wet blanket” は「話の流れに水を差す人」という表現である。6 つ目の Fatima の発言第 1 文に “You were having fun, and I didn’t want them to think I was a wet blanket.” とあり、楽しく盛り上がっているところを邪魔する人だと思われたくないというためらいの気持ちが見られる。

問 7. ウ 「対話によれば、次のうち正しくないのはどれか」

2 つ目の Fatima の発言第 5 文に、 “We could each put in forty dollars a month to cover everything.” とあり、1 か月 40 ドルを洗濯洗剤やペーパータオルなどの家庭用品の購入費に充てられることがわかる。また 2 つ目の Atsuko の発言第 1 文に “Shall we each put in fifty dollars a week toward food?” とあり、食費に週あたり 50 ドル充てるのはどうかという提案がある。これを月単位にすれば食

費は 200 ドルを超えそうである。以上を根拠に、ウの「家庭用品の 1 か月あたりの予算として提示された額は、食費のために提示された額より高い」が正しくないとわかる。

- 問 8. エ 「対話によれば、次のうち Fatima の家事分担として最も可能性がありそうなのはどれか」  
 たとえば 4 つ目の Fatima の発言第 3 文に “I can handle the bathtub and refrigerator?” とあり、Fatima が浴槽と冷蔵庫の掃除を引き受けても良いことがわかる。また、Atsuko の最後の発言第 1 文に “I’ll tackle the stove and the oven, Polly, if you feed the hamsters and keep their cage clean.” とあり、Polly がハムスターの餌やりと檻の掃除を引き受けるなら、ストーブとオーブンの掃除を引き受けるという取引を持ち掛けて、最後の Polly の発言 “It’s a deal!” で取引に応じていることがわかる。以上のことからエが正解である。

5

- 問 1. エ 「メキシコに固有の希少なオオサンショウウオであるアホロートル」について。  
 冒頭の 3 で「アホロートルが体の諸部位を再生できることで有名であること」が書かれている。4 の冒頭部分の “**this ability**” が 3 の「手足や脊髄や心臓やその他の臓器を再生できる能力」を指していて、それが発達してきた理由が述べられている。したがって 3 → 4 の順序となる。次に 1 において「野生ではアホロートルが深刻な絶滅の危機に瀕していること」、2 において「しかしその絶滅の危機がアホロートルのペット化の動きに歯止めをかけなかったこと」が書かれている。論理的には 1 → 2 となる。よって 3 → 4 → 1 → 2 が正解。
- 問 2. エ 「モンティ・ホール問題」について。  
 冒頭の 3 では「モンティ・ホール問題が、3 つの扉があり、1 つの扉の奥には車があり、残り 2 つの扉の奥にはヤギがいるというテレビの懸賞番組の設定に基づいた確率の難問である」ことが述べられている。次に注目したいのは、4 である。そこではこのゲームの内容に関することが書かれている。その意味は、「挑戦者が 1 つの扉を選び、司会者は、それぞれの扉の奥に何があるのかはわかっているわけだが、違った扉を開けてヤギがいることを明らかにする」である。続いて 2 をみると、そのゲームの内容の続きが示される。その意味は、「挑戦者は、それから自分がかもと選んだ扉のままでいくか、残りの開けられていない扉に変えるかの選択肢が与えられる」である。よって、4 → 2 の流れが妥当。そして、最後の 1 で「直感に反することではあるが、扉を変えることを選ぶと、車を得られる可能性が 3 分の 1 から 3 分の 2 に上がる」となる。よって 3 → 4 → 2 → 1 が正解。
- 問 3. エ 「ドップラー効果」について。  
 冒頭の 4 で「ドップラー効果は、音や光やその他の種類の波の観察された周波数が変わっていく様子を表している」とある。次に 3 に注目する。その意味は、「これが起こるのは、波の発生源と観察者が近づいたりあるいは遠く離れていったりするときである」となる。3 の “**this**” はドップラー効果を指していると考えられる。よって 4 → 3 の順になる。続いて 2 に注目する。2 の “**they**” は 3 で書かれていた “**the source of the waves**” と “**the observer**” を指していると考えられ、また 3 の内容を具体的に説明するために、“**For example**” から始まっていると予想できる。2 の意味は「例えば、それらが近づけば、観察者は音を高い音程と認識し、光をスペクトラムの青い端に向かって変化していくと見る」である。そして最後に 1 がくる。その意味は、「他方で、さらに離れていけば、結果的に低い音程の音になり、光は赤い端に移っていく」である。よって 4 → 3 → 2 → 1 が正解。
- 問 4. ウ 「バロック音楽」について。  
 冒頭の 2 ではバロック音楽とは何かについて述べられている。その意味は、「バロック音楽は大体 1600 年から 1750 年頃までヨーロッパで繁栄し、ルネサンス期に続いてイタリアで始まり、のちに大陸全体に広がっていった」である。続く段落を 4 とすると、4 の冒頭の “**They**” が何を指しているかわからなくなるため、解答の選択肢より、2 に続くものとして 1 を選ぶ。その意味は、



「バッハやヴィヴァルディやヘンデルといったその時代の作曲家たちは、華麗なメロディーの精巧な作品を作った」である。そのうえで、1につながるものとして4を選ぶ。さきほどの“**They**”の指示内容が1の“**Composers of the time**”となるからである。4の意味は、「彼らはコンチェルト、オラトリオ、フーガのような音楽形式を導入した。それらの有名な例が、バッハの『フーガト短調』であり、オルガンのために書かれたものである」となる。したがって、1 → 4 の順序となる。3 はまとめの一文となり、その意味は「バロック音楽は、古典様式の基礎を築き上げ、クラシック音楽の正典の一部として、依然として今日幅広く演奏されている」となる。よって 2 → 1 → 4 → 3 が正解。

6

- (1) ア 空所(1)を含む1文のおよその意味は、「集められたデータによると、72名の乗客が月曜日にヨガに参加して、それは日曜日と水曜日と金曜日の参加者を合算した数字よりも( 1 )多かった」となる。そこでグラフを参照すると、ヨガに参加した人の数は、日曜日は20名、水曜日は21名、金曜日は20名となり、合計すると61名となる。72名から61名を引くと、11名となり、空所(1)には11が入る。よって、正解はアである。
- (2) ウ 空所(2)の前後を読むと、この週に行われたすべての activities の中で最も人気のあった activity は、何曜日にあった information session だったのかが問われているのがわかる。棒グラフを見ると、水曜日の information session の参加者数が84人で最多であったことがわかるので、ウが正解である。
- (3) イ 空所(3)の前後と設問文を読むと、水曜日の cooking class の参加者数が金曜日の cooking class の参加者数の何倍かが問われているのがわかる。棒グラフを見ると、前者は80人で後者は40人だから、イが正解である。
- (4) エ 空所(4)の前を読むと、金曜日に二番目に人気のあった activity が何だったのかが問われているのがわかる。1番人気は76人が参加した Information Session で、2番人気は63人参加の Trivia Night である。したがってエが正解である。

7

- (1) 前半 “These devices use infrared beams and particles even smaller than atoms ~” について確認する。  
構造として特に難しいところはないので、用語や表現の意味を確認する。device 「機器」、infrared beams 「赤外線ビーム」といった語句の訳には注意が必要である。even は比較級 smaller を強める副詞であり、「さらに、なおさら」といった意味である。単に隔たりの大きさを表す much や far と異なり、今回の文脈であれば、そもそもかなり微小な物質である原子を比較対象としつつ、「その小さな原子よりもさらに小さな」という意味を表すものである。同時に「そんなに小さいのか」という主観的な驚きの意味合いも表す。  
後半 “~ to enable archaeologists to view the interior of the structure without excavating it.” について確認する。  
ここも語句と表現の意味の確認をする。<S enable O to do> は「SはOが~することを可能にする、SのおかげでOは~できる」、<without doing> は「~することなしに」、excavate は「~を発掘する」という意味である。なおその目的語の it は “the structure” を指す。
- (2) この下線部についても、構造として特に難しいところはないので、語句と表現の意味を確認する。  
application はこの文脈では「応用」という意味だが、ほかにも「申請 / 出願書類 / 塗布 / アプリ」といった意味もあるので注意する。cutting-edge は「最先端の」という意味である。capture は「~を捕らえる、引きつける」という意味である。注意が必要なのは “the world” で「世界」という意味だけでなく、文脈によっては「世の人々」という意味で用いられることがある。

8

- (1) It goes without saying that just setting a thermometer in a random location in the water cannot result in the accurate measurement of ocean temperature.

(別解 1)

Obviously, simply placing a single thermometer at a given point in the water cannot measure the true temperature of the sea accurately.

(別解 2)

It is clear that placing a single thermometer in a random spot in the water is not sufficient to obtain an accurate measurement of the sea temperature.

(別解 3)

Needless to say, you cannot precisely determine the temperature of the sea just by putting one thermometer in randomly in the water.

- (1) 「単に～だけ」 just / simply / single / one など。  
 「温度計を入れる」 set a thermometer / place a thermometer / put a thermometer など。  
 「水の中の適当な場所に」 in a random location in the water / at a given point in the water / in a random spot in the water / randomly in the water / at an appropriate location and depth など。  
 「単に～だけで海の温度を正確に測る」  
 ~ yield [provide] the accurate measurement of ocean temperature / ~ measure accurately the actual temperature of the sea / precisely determine the temperature of the sea just by ~ など。

- (2) Scientists are using satellites to monitor sea level rise directly correlated with the warming of deep ocean waters.

(別解 1)

Scientists employ satellites to observe rising sea-levels, which are closely linked to the rise in deep-ocean temperatures.

(別解 2)

Scientists utilize satellite observations to track sea-level rise, a phenomenon that is strongly associated with the warming in the deep ocean.

(別解 3)

Scientists use satellite data to monitor sea-level rise, a process that shows a direct correlation with increasing deep-ocean temperatures.

「深海の水温上昇」 warming of deep ocean waters / warming of the deep ocean / deep-ocean warming / warming in deep-ocean waters / the warming in the deep ocean / the rise in deep-ocean temperatures / increasing deep-ocean temperatures / increases in deep-ocean temperatures / rising temperatures in the deep ocean など。

「直接的に～と相関関係のある…」

... directly correlated with ~ / ..., which are closely linked to ~ / ..., a phenomenon that is strongly associated with ~ / ..., a process that shows a direct correlation with ~ など。

「海面上昇を監視する」 monitor sea level rise / observe rising sea-levels / track sea-level rise など。

「人工衛星を利用する」 are using satellites / employ satellites / track sea-level rise / utilize satellite observations / use satellite data など。

## 講評

- |            |       |   |
|------------|-------|---|
| 1 [長文内容一致] | (標準)  | 「イギリスで戦前から開始された世論調査」に関する英文。内容については初めて耳にする話題と思われるが、設問に特に難しいところはない。                           |
| 2 [文法]     | (やや易) | 典型的な出題内容で、しっかりと学習していれば得点しやすい。   |
| 3 [同義語選択]  | (やや難) | 概ね基本的な単語や表現の意味が問われているが、若干難化傾向にある。   |
| 4 [会話]     | (標準)  | 前半は「祖母と孫のオンラインを巡る議論」。後半は「シェアハウスでの役割分担」。登場人物の意見や役割に関する情報を整理する必要がある。                          |
| 5 [文整序]    | (やや易) | 指示語や代名詞を基に判断すれば容易に答えを出せる設問が多い。  |
| 6 [図・グラフ]  | (易)   | 「クルーズ船での催し物参加率」に関する棒グラフを正確に読み取る。  |
| 7 [和訳]     | (やや易) | 「ピラミッドの内部探索」に関する英文。内容の把握は難しくない。   |
| 8 [英訳]     | (やや難) | 「温暖化を反映しやすい海水温の測定に伴う問題点や測定手段」に関する英文。典型表現や語彙の知識があれば部分的には英文を構成できるが、正確に書くのに求められる知識レベルはやや高めである。 |

大問構成、問題量及び難易度のいずれも例年並み。目標は 70%

**メルマガ無料登録で全教科配信！** 本解答速報の内容に関するお問合せは… メビオ ☎0120-146-156 まで

医学部進学予備校

**メビオ**

☎0120-146-156 <https://www.mebio.co.jp/>



医学部専門予備校

**YMS**

医学部専門予備校

**英進館メビオ** 福岡校

☎03-3370-0410

<https://yms.ne.jp/>

☎0120-192-215

<https://www.mebio-eishinkan.com/>



登録はこちらから

諦めない受験生をメビオは応援します！

**医学部後期入試**  
**ガイダンス** **参加無料**

**2/11** (水・祝)  
14:00～14:30

医学部進学予備校 メビオ校舎

お申込みはこちら▶



後期入試も **チャンス** あり！

**私立医学部** 2026年度入試対策  
**大学別後期模試**

**近畿大学医学部 2/17(火)**

**金沢医科大学 2/20(金)**

締切：4日前15:00 会場：エル・おおさか

詳細やお申込は  
こちらから



医学部進学予備校

**メビオ**

フリーダイヤル



☎0120-146-156

校舎にて個別説明会も随時開催しています。  
【受付時間】9:00～21:00 (土日祝可)

大阪府大阪市中央区石町 2-3-12 ベルヴォア天満橋  
天満橋駅(京阪/大阪メトロ谷町線)より徒歩3分